

# 平成29年度新入生オリエンテーション実施報告

|                           |  |
|---------------------------|--|
| 石田 健一<br>Kenichi ISHIDA   | 九州産業大学 理工学部 情報科学科<br>Department of Information Science, Faculty of Science and Engineering, Kyushu Sangyo University |
| 安部 恵介<br>Keisuke ABE      | 九州産業大学 理工学部 情報科学科<br>Department of Information Science, Faculty of Science and Engineering, Kyushu Sangyo University |
| 田中 康一郎<br>Koichiro TANAKA | 九州産業大学 理工学部 情報科学科<br>Department of Information Science, Faculty of Science and Engineering, Kyushu Sangyo University |
| 仲 隆<br>Takashi NAKA       | 九州産業大学 理工学部 情報科学科<br>Department of Information Science, Faculty of Science and Engineering, Kyushu Sangyo University |
| 米元 聡<br>Satoshi YONEMOTO  | 九州産業大学 理工学部 情報科学科<br>Department of Information Science, Faculty of Science and Engineering, Kyushu Sangyo University |

## 1. はじめに

新入生に対し、入学直後に大学生活を円滑に開始させるために多くの説明会等が用意されており、その一連の行事を新入生オリエンテーションという。平成29年度の日程を表1に示す。新入生は、大学の規則や施設などについて説明を受けるが、それ以外に新入生同士及び教員と良い関係が築けるかという不安があるように思える。入学後早めに新入生同士あるいは上級生教員を知ることが、入学直後の不慣れた時期にわからなかった点を気軽に確認できたり、今後の学習や他の生活面で相談し合ったりすることができ有益である。その結果、修学意欲や学習生活習慣を維持しやすくなると思われる。本稿では、以上のことから新入生オリエンテーション期間中に情報科学科で実施しているコミュニケーションワーク、学科懇談会について紹介する。

旧情報科学部情報科学科では、平成16年に宗像市にあるグローバルアリーナにて合宿形式のオリエンテーションをスタートさせた[1]。その後、内容を見直しながら、毎年4月5日～4月6日に1泊2日のスケジュールで合宿形式のオリエンテーション実施してきた。日付が毎年同一なのは施設の予約上の制約による。合宿形式のため、食事を一緒にとったり、夜遅くまで懇談したりすることができ、交流を深めるよい機会となっていた。

平成29年度のオリエンテーション（情報科学科実施分）を計画するに当たり、長く続けていた合宿形式をやめ、学内で実施することになった。その理由としては、全学的に4月6日が履修登録開始日となっており合宿の日がちと重複していること、平成28年度は4月2日（土）が入学式で4月11日（月）の授業開始だったのに対し、平成29年度は4月2日（日）が入学式で4月7日（金）の授業開始となり、ガイダンスの期間が短くなったこと、近年オリエンテーションの中で様々な説明会が行われ、新

表1 平成29年度新入生オリエンテーション等日程概要（情報科学科）

|   |
|---|
| 4月2日（日）<br>14:00 入学式  |
| 4月3日（月）<br>9:00 プレイメントテスト（国語、英語）<br>13:00 プレイメントテスト（数学）   |
| 4月4日（火）<br>10:30 教務関係ガイダンス<br>12:30 履修登録説明会<br>14:30 総合情報基盤センターオリエンテーション<br>16:00 日本学生支援機構行学金予約採用説明会<br>17:00 司書課程等 ガイダンス |
| 4月5日（水）<br>9:00 コミュニケーションワーク<br>13:00 学科懇談会   |
| 4月6日（木）<br>履修登録期間 ～4月8日（土）<br>11:30 語学教育研究センターオリエンテーション<br>13:30 学生生活オリエンテーション<br>15:30 定期健康診断                            |
| 4月7日（金）<br>授業開始   |

入生の負担が大きいが挙げられる。

## 2. 実施体制

企画・運営は、平成27年度に決められた3つ目の教員グループがあたることになっており、その教員5名中心に企画・運営した。また、上級生スタッフとして32名の協力を得た。当日は、基礎ゼミナールのクラスである新入生9人（一部8人）に教員1名、上級生2名が加わった12人（一部11人）を1グループとして活動を行った。基礎ゼミナールの担当のない教員も適宜参加して頂いた。

表 2 平成 29 年度コミュニケーションワークスケジュール

|                   |
|-------------------|
| 4月5日(水)           |
| 9:00 集合           |
| 9:10 今日の学習のねらい説明  |
| 9:20 拡大名刺で自己紹介    |
| 9:50 みんなで 50 マス作文 |
| 10:35 休憩          |
| 10:50 ペーパータワー     |
| 11:30 ふりかえり       |

### 3. コミュニケーションワーク

4月5日(水)の午前はコミュニケーションワークを実施した。その内容は表2に示している。昨年以前と同様に外部の専門の方に指揮して頂いた。内容は、今年の合宿1日目の午後に行ったものをほぼ踏襲している。昨年の内容については[2]を参照されたい。会場として、本学の体育館メインフロアをお借りした。

拡大名刺で自己紹介は、A3の用紙に自分の氏名、趣味などを書いておき、それを見せながら自己紹介をするというものである。その様子を図1に示す。12人のグループ内でさらに4人ずつのチームに分かれて、チーム替えをし、合計2回実施した。1グループで11人を相手に行くと、声が聞き取りづらい、初対面の大勢の前での発言は緊張の度合いが大きいなどが想定されるため、小さなチームを取り入れた。

みんなで50マス作文も昨年と同様である。原稿用紙を大きくしたような用紙を壁などに貼り付け、チームのメンバーが1文字ずつ記入して、メールの文章を作成するという内容である。その様子を図2に示す。お題も昨年と同様で「意中の人をデートに誘う文面」、「他チームが作った文面への返事を書く」であった。1グループ12人を2チームに分け1チーム6人程度で実施した。初対面でなかなか話ができない関係でも、相手の様子を見ると、真面目に書く人や少し意外なことをする人などの性格をうかがい知ることができると思う。終了後の反省では完成した文面でコミュニケーションを活性化される効果もある。

ペーパータワーも昨年と同じである。その様子を図3に示す。用紙30枚で何らかの構造物を作り、その高さを競うワークである。まず、作戦を立てる時間10分が与えられて、その後で作成時間1分で作成する。作成時間は非常に短いため、綿密に作戦が建てられ、作戦を作成時間に全員で実行できるかが問われる。本年度はこれまでにない高いタワーを作成したチームがあった。新入生間でコミュニケーションが取れるようになった成果と思う。今年は成績優秀グループへの景品は用意できなかった。

午前のコミュニケーションワークは、体育館という広い空間で、体を動かしながら演習を行ったことで、新入生は昨日までの緊張がほぐれて他の学生と打ち解け合うことがスムーズにできたと思う。



図 1 拡大名刺で自己紹介



図 2 みんなで 50 マス作文



図 3 ペーパータワー

### 4. 学科懇談会

4月5日(水)の午後は、学科懇談会である。まず12107教室で情報科学科で学ぶ重要な科目についての説明を行った。説明の内容は以下のとおりである。説明の大部分は上級生によった。その様子を図4に示す。

- ソフトウェア系専門科目
- ハードウェア系専門科目
- 数学系専門科目
- 基礎教育科目
- キャリア科目
- 語学
- 教職課程

全体説明の後は、12216から12218の3教室に分かれて、基礎ゼミナールのクラス別に時間割作成を行った。その様子を図5に示す。教室を移動したのは、基礎ゼミ



図4 情報科学科カリキュラム説明



図5 時間割作成

ナルのクラス毎に集まって作業をするため可動式の机が便利だったからである。基礎ゼミナルのグループで教員、上級生を交えて実施した。時間割の作成以外にも、大学生活の開始に当たり不明な点・不安な点を、教員、上級生、新入生とさまざまな立場の人に聞くことができた。

## 5. アンケート結果

新入生に対し、平成29年度新入生オリエンテーションアンケートを実施した。アンケートの内容は以下の通りであり、122件の回答が収集できた。

- (1) コミュニケーションワークはどうでしたか?  
5:とても有意義・4:かなり有意義・3:有意義・2:あまり有意義ではない・1:全然有意義ではない
- (2) コミュニケーションワークに積極的に参加できましたか?  
5:とてもできた・4:かなりできた・3:できた・2:あまりできなかった・1:全然できなかった
- (3) コミュニケーションワークを体験して緊張が増えた・減った・変わらなかった
- (4) コミュニケーションワークを体験して不安が増えた・減った・変わらなかった
- (5) コミュニケーションワークを体験して心細さが増えた・減った・変わらなかった
- (6) コミュニケーションワークを体験して親しみが増えた・減った・変わらなかった
- (7) コミュニケーションワークを体験してわくわくが

増えた・減った・変わらなかった

- (8) コミュニケーションワークを体験して感じたことを自由に記述してください。
- (9) 時間割作成はどうでしたか?  
5:とても有意義・4:かなり有意義・3:有意義・2:あまり有意義ではない・1:全然有意義ではない
- (10) コミュニケーションワークと時間割作成の日程と場所についてどのように思いますか?  
今回のままでよい・学外施設(日帰り)で行いたい・学外施設(一泊二日)で行いたい
- (11) 上級生として、新入生オリエンテーションに参加したいと思いますか?  
5:強く思う・4:思う・3:どちらでもよい・2:あまり思わない・1:全く思わない
- (12) 感想・意見などを自由に書いてください。

問(1)、問(2)、問(9)の結果を図6に示す。いずれの質問に対してもほとんどの学生が有意義と答えており、新入生が満足していると思われる。昨年の結果[2]と比較すると、とても有意義、かなり有意義の割合が少し増加している。

問(3)～問(7)の結果を図7に示す。75%程度の新入生が、緊張・不安・心細さが減ったと回答した。昨年の結果[2]とほぼ同様である。ただし、緊張が増えたという新入生がやや多くなったのが気かりである。また、親しみ・わくわくについては7～8割以上の新入生が増えたと答えており、昨年の結果[2]に比べると増えたという割合が上昇している。

問(8)のコミュニケーションワークの感想の自由記述についてまとめる。ほとんどが肯定的な意見である。

- 楽しい(42件)
  - 楽しかった!先生や先輩が優しくて良かった!
- 友人(17件)
  - 初めて会う人と楽しく過ごせた。
  - 人と人との距離が縮まりやすくなるととても有意義な時間だったと思う。
- 話(9件)
  - いろんな人と話せた。
  - 会話が増えるのでとても良いと思った。
- 不安解消(6件)
  - 緊張が解けて楽しい時間を過ごせて良かった。
  - 気が軽くなった。
- 知れた(5件)
  - 授業などいろいろなことについて分かった。
- 良い(4件)
  - 初めは乗り気ではなかったけど体験してよかった。
- 上級生(2件)
  - 先輩にいろいろなお話が聞けて良かったです。
- 退屈(1件)
  - 眠くなりました。

問(10)の結果を図8に示す。今回のままで良いという

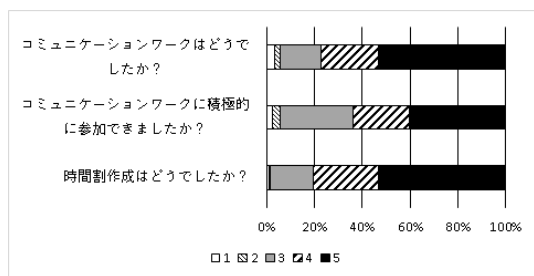


図 6 アンケート結果 1

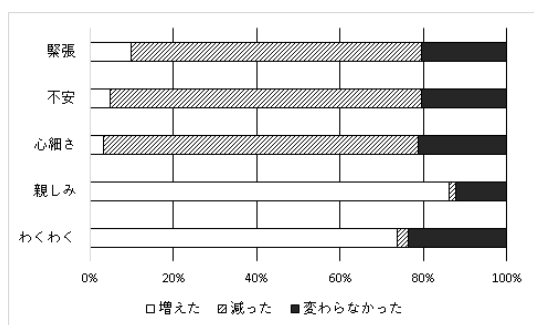


図 7 アンケート結果 2

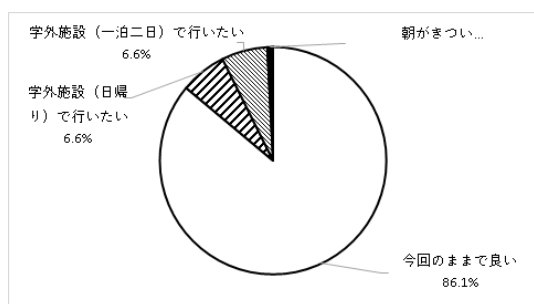


図 8 アンケート結果 3

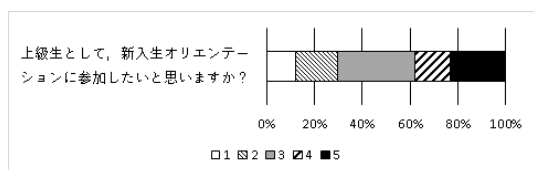


図 9 アンケート結果 4

意見が86%を占めた。昨年は1泊2日合宿形式であり、日帰りが良いとの意見が36%あった。新入生は、学内、合宿形式などともに経験して回答しないので、感覚的な意見であろうが、合宿でなくても不満はなさそうである。

問(11)の結果を図9に示す。5:強く思う~3:どちらでもよいの割合は7割程度ある。卒業までの間に、上級生として協力してくれることを期待する。

問(12)の感想・意見などの自由記述についてまとめる。ほとんどが肯定的な意見である。時間割作成についてはカリキュラム変更により上級生が未知な部分があったことの影響があったと思う。

- 楽しい (38 件)

- 友人 (15 件)
  - 初対面の人でも楽しくコミュニケーションが取れてとても楽しかったです!
- 有意義 (11 件)
  - 色々な人の感想や概念を知れて、とても有意義な時間でした。
- 良い (11 件)
  - とてもいいイベントでした。
  - よい1日だった。
- 時間割 (11 件)
  - 時間割を作れてよかった。
  - 同じクラスの人と話せてよかったし、同じ学科の先輩と相談しながら時間割を決められて為になりました。
  - 履修のことがイマイチわからなかった自分にとって先生や先輩の助言は本当に助かりました。おかげで時間ギリギリではありましたがなんとか時間割表作成できました。
- 上級生 (11 件)
  - 上級生の意見など聞いてとても有意義に過ごすことができました。
  - 先生と先輩に親切して頂きましてありがとうございます。
- 不安解消 (9 件)
  - 今回このコミュニケーションワークに参加して、何とか大学生活を送れそうだなと思いました。
  - 今後の生活を有意義に過ごしていける気がする。
  - 今日で不安が減ったからとても良い1日になりました。
- 問題点指摘
  - 今回のプレゼンテーション通して履修表の作り方を簡易に明記した方が良かったと思った。自分を含め周りの友達も中々作業が進まない状況が見られたのでそこは問題だと思った。先輩に聞きづらい、先輩聞いても余り理解できていない人が多い。

## 6. おわりに

本稿では、情報科学科で実施している新入生オリエンテーションについて紹介した。新入生からは概ね良い評価を得ており、有益であったと言える。最後に、学内施設(体育館、教室等)の調整をくださった方々、ご協力頂いた情報科学科上級生の皆さんに感謝いたします。

### ◇ 参考文献 ◇

- [1] 安部、アブドゥハン、平成16年度新入生オリエンテーション、九州産業大学情報科学会誌、3巻1号、pp.13-14、2004
- [2] 朝廣ほか、平成28年度新入生オリエンテーション実施報告、九州産業大学情報科学会誌、15巻1号、pp.30-35、2017